

平成22年度 強い水産業づくり交付金  
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	22-4	岩手県												
メニューの内容	漁業収益力の強化	(施設名) 漁獲物加工処理施設												
事業実施主体	広田湾漁業協同組合													
評価期間	平成23年度～25年度													
事業費	101,070 千円													
交付金額	40,140 千円													
成果目標	3年間の総便益	23,496 千円												
実績値	3年間の総便益	33,447 千円												
成果目標の達成率	142.35 %													
事業の目的	当該施設の整備により、養殖ワカメの水揚量の増加に対応した加工作業の効率化と衛生管理の向上を図り、養殖漁家の経営安定と意欲ある担い手の育成に繋げる。													
事業の成果	<p>施設整備により、協業体によるワカメも水揚量は、H24,25年度平均675トンと震災前の365トンから増加するとともに、ワカメボイル塩蔵加工作業の効率化により品質の向上が図られた。</p> <p>生ワカメ生産量に対する等級別塩蔵ワカメ生産割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備前</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1号品</td> <td>16.0%</td> <td>18.6%</td> <td>20.6%</td> </tr> <tr> <td>2号品</td> <td>6.0%</td> <td>2.8%</td> <td>2.2%</td> </tr> </tbody> </table>			整備前	H24	H25	1号品	16.0%	18.6%	20.6%	2号品	6.0%	2.8%	2.2%
	整備前	H24	H25											
1号品	16.0%	18.6%	20.6%											
2号品	6.0%	2.8%	2.2%											
その他特筆すべき事項	<p>当該施設は、平成23年3月竣工したが、東日本大震災に伴う津波により被災し、修繕工事の完了が24年3月となったため、事後評価は、24年4月以降の施設利用実績に基づき行っている。</p> <p>農林水産業共同利用施設災害復旧事業により修繕している。</p>													
成果目標が未達成の場合はその理由及び改善方策	-													
備考	-													

平成22年度 強い水産業づくり交付金  
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	22-6	岩手県
メニューの内容	漁業用作業保管施設	(施設名) 漁業用作業保管施設
事業実施主体	綾里漁業協同組合	
評価期間	平成23年度～25年度	
事業費	70,980 千円	
交付金額	35,490 千円	
成果目標	3年間の総便益	15,446 千円
実績値	3年間の総便益	▲ 142 千円
成果目標の達成率	▲ 0.92 %	
事業の目的	<p>受益地区である綾里砂子浜地区は養殖漁業への依存度が高く、ホタテ養殖を中心にホヤ養殖も営んでいるが、臨港道路と養殖作業用地の整備の遅れから、集出荷施設が無く、作業は露天で行われていた。</p> <p>このことから施設整備を行い、高齢者や女性に配慮した漁業者の労働環境改善と作業効率の向上、漁業所得の向上を図り、担い手の育成確保に繋げる。</p>	
事業の成果	<p>当該施設は、平成22年11月竣工したが、東日本大震災に伴う津波により被災し、修繕工事の完了が25年7月となったため、事後評価は、25年8月以降の施設利用実績に基づき行っている。</p> <p>さらに、当該施設で取扱う養殖ホタテガイは、養殖期間が2～3年であるため、25年度の時点では、通常の生産サイクルとなっていないため、施設利用回数も本来よりも少なくなっている。</p> <p>このことから、施設整備により、短縮された労度時間を貨幣化した金額は、400千円と極めて少額となっている。</p>	
その他特筆すべき事項	農林水産業共同利用施設災害復旧事業により修繕している。	
成果目標が未達成の場合はその理由及び改善方策	<p>利用再開後の状況は、施設を整備したことで、生産物の陸揚げ、付着物の除去及び集出荷までの一連の出荷作業が施設内で行えるようになったことにより、当初計画どおり、労働環境の改善と作業効率が向上し、1回作業あたり約30分の労働時間の短縮が図られている。</p>	
備考	<p>施設の主要取扱い生産物であるホタテガイの養殖施設も流失したが、平成23年度以降養殖を再開している。</p> <p>ホタテガイは、出荷まで2～3年の期間を要するため、平成26年から事業計画に沿った施設の運用がなされる見込みである。</p>	

平成22年度 強い水産業づくり交付金  
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	22-10	岩手県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 養殖施設
事業実施主体	広田湾漁業協同組合	
評価期間	平成23年度～25年度	
事業費	30,000 千円	
交付金額	15,000 千円	
成果目標	3年間の総便益	128,746 千円
実績値	3年間の総便益	0 千円
成果目標の達成率	0.00 %	
事業の目的	養殖漁場の造成による、安定した水揚と生産量の増大及び新養殖種目であるエゾイシカゲガイの生産拡大により、漁家経営の安定を図る。	
事業の成果	-	
その他特筆すべき事項	施設が津波により全損したため、水産業共同利用施設復旧整備事業及び水産業共同利用施設復旧支援事業により、代替施設を整備している。	
成果目標が未達成の場合はその理由及び改善方策	東日本大震災に伴う津波により、施設が被災し、評価期間の利用実績がないため、効果算定が不能となっている。	
備考	当事業で整備した施設が全壊しており、災害報告により補助関係が終了している。	

平成22年度 強い水産業づくり交付金  
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	22-11	岩手県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 養殖施設
事業実施主体	大船渡市漁業協同組合	
評価期間	平成23年度～25年度	
事業費	38,776 千円	
交付金額	19,388 千円	
成果目標	3年間の総便益	33,279 千円
実績値	3年間の総便益	0 千円
成果目標の達成率	0.00 %	
事業の目的	カキ、ホタテガイ、ホヤの養殖施設を整備することにより、漁家収入の増加と漁家経営の安定を図る。	
事業の成果	-	
その他特筆すべき事項	施設が津波により全損したため、水産業共同利用施設復旧整備事業及び水産業共同利用施設復旧支援事業により、代替施設を整備している。	
成果目標が未達成の場合はその理由及び改善方策	東日本大震災に伴う津波により、施設が被災し、評価期間の利用実績がないため、効果算定が不能となっている。	
備考	当事業で整備した施設が全壊しており、災害報告により補助関係が終了している。	

平成22年度 強い水産業づくり交付金  
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	22-18	岩手県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 養殖施設
事業実施主体	宮古漁業協同組合	
評価期間	平成23年度～25年度	
事業費	71,740 千円	
交付金額	35,870 千円	
成果目標	3年間の総便益	96,574 千円
実績値	3年間の総便益	0 千円
成果目標の達成率	0.00 %	
事業の目的	養殖施設の構造の見直し、災害に強い施設に変更することにより、漁家収入の安定と向上を図る。	
事業の成果	-	
その他特筆すべき事項	施設が津波により全損したため、水産業共同利用施設復旧整備事業及び水産業共同利用施設復旧支援事業により、代替施設を整備している。	
成果目標が未達成の場合はその理由及び改善方策	東日本大震災に伴う津波により、施設が被災し、評価期間の利用実績がないため、効果算定が不能となっている。	
備考	当事業で整備した施設が全壊しており、災害報告により補助関係が終了している。	